

小島生涯学習交流館

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年8月6日(火)

出前授業レポート

「子どもたちが2時間、楽しそうに活動していました。全員が十分に体験することが出来て満足していました。」

小島生涯学習交流館の小島チャレンジクラブ全5回のうちの2回目に、子どもたちが本物にふれる体験を通して、昔の人々の知恵から学ぶことを目的で、小学3年生3人、4年生1人、5年生3人、6年生2人が、火起こしと石器の試し切りの2つの体験を行いました。

火起こし体験

大変暑い日で、まだ日陰がある内に火起こしを行うことにしました。最初は、火起こしの歴史を簡単に話しました。火打ち石を見せると、知っている様子でした。舞ぎり法でのやり方を説明し、グループに分かれて弾み車を回し始めました。なかなか火種が出来なくて苦労しましたが、皆頑張って火種を作り、フーフータイムもクリアして、着火できました。

「暑かったけど、火がついて楽しかった。」

「社会科見学で出来なかった火起こしができてうれしかった。」

石器の試し切り体験

金属器が大陸から伝来する前の旧石器時代や縄文時代のことを想像しました。石で穴を掘ったり、木を切り倒したりするために、石を打ち砕いたり、磨いたりする必要があったことを考えました。更に、狩りをしたり肉を切ったりするために黒曜石が大切だったことを認識しました。その黒曜石で紙や野菜を切りました。切れ味にビックリ！

「黒曜石が意外と切れてビックリした。」

「黒曜石で野菜が切れて楽しかった。」

担当職員さんの感想

「子どもたちが2時間、楽しそうに活動していました。全員が十分に体験することが出来て満足していました。センターの職員さんには、暑さ対策のため、予定を変更して対応していただき大変ありがとうございました。暑い中、本当にありがとうございました。」